

参加無料  
一般公開

# 時代の変革期こそ 応用物理分野を輝かせよう

日時

2021年  
3月18日(木) 13:30-18:00 (予定)  
オンライン開催

少子高齢化による労働人口減少・AI社会の到来・コロナとの共存など、時代の変革期を迎えている。一方、応用物理分野では、①企業ニーズが高いにもかかわらず応物関連分野の人材が不足している、②理工系の女性研究者数、理工系を選択する女子学生が依然として極めて少ない、という課題を抱えている。

**本シンポジウム**では、ニューノーマルといわれる新しい時代を迎えつつある今、これらの問題に学会として何ができるか？について考えていきたい。講演では、まず、なぜ理工系の女性が少ないか、なぜ増える必要があるのか、そもそもなぜ文系と理系がかくも分かれてしまっているのかなど、歴史的な経緯を踏まえて、今後に向けてどうしたら良いのかをお話いただく予定である。続いて、「中高生に応物分野の魅力を伝えるための方策」、「応用物理学会における取り組み」、「応物分野の企業における女性研究者の採用と活躍」について、ご講演いただく。

**パネルディスカッション**では、次世代の人材育成のために学会に何を期待するのか／学会ができることは何か、またコロナ禍により急速にすすんだオンライン化がダイバーシティの推進にどう影響しているのか、などを議論する。

## ● 招待講演者／講演題目 (敬称略・仮題)

隠岐 さや香 (名古屋大学) 「なぜ理工系を選択する女性が少ないのか/文理の違いは？」

黄 晋二 (青山学院大学) 「中高生に応物分野の魅力を伝えるには

～理科の教職課程制度の現状と課題～」

波多野 睦子 (東京工業大学・応用物理学会会長) 「ニューノーマル時代の応用物理学会」

國井 稔枝 (パナソニック) 「企業における女性技術者の採用活動と職場環境」

## ● パネルディスカッション

司 会：筑本 知子 (中部大学・シンポジウム世話人)

パネリスト (予定)：平本 俊郎 (東京大学・応用物理学会副会長)、黄 晋二、國井 稔枝、  
橋本 信幸 (元シチズン時計)、藤井 茉美 (奈良先端科学技術大学院大学)